

お客様の声から生まれた小規模向けITシステム運用サービス

「安定稼働診断サービス」 「簡易運用支援サービス」

中堅・中小企業では、収益向上や業務効率を左右するITシステム運用のあるべき姿が問われています。富士通は多くのお客様の声をもとに、システムのライフサイクルを見据えた低コストな新システム運用サービスを製品化、販売を開始しました。

求められる低コストな 小規模システム向けサービス

厳しい経営環境の中、予算見直しを迫られる企業は少なくありません。コスト削減においては電気・水道・通信等、一般固定費はもとより製造設備費に至るまであらゆる分野に及び、企業活動の根幹ともいえるITシステムもいまや決して「聖域」ではありません。景気後退の影響を受け、早急なコスト削減を余儀なくされる中、業務の改善・効率化を左右するITシステム運用においても、品質を損なうことなく「ヒト・モノ・カネ」の投入、削減タイミングが大きな課題となっており、いま一度見直すべきとの声が高まりつつあります。

このような中、「ITシステムの安定稼働や最大限の機能を引き出すためのコストバランスを示して欲しい」という、お客様のリクエストにお応えするため、保守・運用支援サービス「SupportDesk(サポートデスク)」をご利用のお客様へアンケートやヒアリング*を実施。多くの企業がITシステムの保守・運用を低コストで外部委託したいと望まれていることがわかりました。

- ①サーバのトラブル発生時、早期に検知して知らせしてほしい(62%)
- ②トラブル時、現場で復旧支援してほしい(60%)
- ③トラブルの要因を切り分けて欲しい(54%)
- ④定期的に来訪してサーバの稼働状況を報告してほしい(50%)

お客様の声をもとに生まれた 2つの新ITシステム運用サービス

富士通はこれらの声にお応えし、保守・運用支援サービスの「SupportDesk」と併用いただく、小規模

システム向け「安定稼働診断サービス」「簡易運用支援サービス」のご提供を開始しました。

「安定稼働診断サービス」

サービスエンジニアが定期的に訪問しトラブル防止の簡易診断を実施。サーバの稼働状況や最新セキュリティ情報をご提供。ハードディスクのバックアップを行い、トラブル時にも迅速に復旧できる環境を整備。トラブル発生時には原因分析のための情報採取、リカバリー支援等を実施。このサービスにより、専任者無しに低コストでシステムを安定運用することが可能。販売価格は7,000円/月額とお求めやすくなっています。

「簡易運用支援サービス」

社内の問い合わせを富士通LCMサービスセンターがワンストップで受け付け。システム管理者の問い合わせ対応の負荷軽減とシステム利用者の満足度向上を同時に実現。また、業務時間中、LCMサービスセンターがお客様システムの生死監視(ping監視)・異常検知時の通知を実施し、万が一の障害発生時には専門技術者が障害の原因を切り分け、迅速なシステム復旧を支援します。

これらのサービスをご利用いただければ、システム管理者は日々の運用・保守業務はもちろんのこと、予期せぬ障害対応の負荷も軽減することが可能になります。今後も、お客様のご要望に柔軟に対応できるサービスを順次拡充してまいります。

※お客様へのアンケート及びヒアリング

アンケートは「SupportDesk」契約をご締結いただいたお客様のうち、年商1,000億円未満の企業を対象に実施。1,100社1,200名のシステム管理者の皆様よりご回答をいただきました。ヒアリングは年商300億円未満の東名阪及び九州地区の10社を訪問し、「新サービスへの要望」をテーマに実施しました。

詳しくは ▶▶▶ <http://jp.fujitsu.com/about/journal/products-services/20090202-01/>



富士通ジャーナルサイトもあわせてチェック!

富士通ジャーナルサイトでは、冊子でご紹介した製品の詳しい情報や、冊子ではご紹介しきれないお奨めの製品情報を毎週更新しています。ぜひご覧ください。

富士通ジャーナル プロダクト&サービス

検索

<http://jp.fujitsu.com/about/journal/products-services/>